

議員定数等調査検討に関する小委員会（第5回）

平成27年2月27日（金）午前10時
於：第1委員会室

○ 調査事項

1 前回の調査内容について

前回の調査内容を確認した。

2 議員定数の適正な在り方について

1) 論点について

別紙のとおり整理した。

2) 現状維持「24人」及び2人削減「22人」、4人削減「20人」案について

論点に基づき検証した。

3 市民アンケートの実施について

議会に関する市民アンケートについて、予算措置がなされ次第実施すること、また、その内容は前回の市民アンケート（平成24年4月実施）の結果と比較するため、基本的に同じ設問とすることを決定した。

4 専門的知見の活用について

関西学院大学 林 宜嗣教授を招聘することを決定した。

5 議員定数等調査検討特別委員会への中間報告について

当委員会の調査検討内容を、議員定数等調査検討特別委員会に中間報告することに決定した。

6 次回の日程について

次回の小委員会は、平成27年4月2日、午後1時から開催することに決定した。

論点

1 議会（委員会）の権限・機能から見た定数

- 1) 地方分権時代における議会・委員会、議員のあるべき姿の観点
- 2) 行政監視機能強化の観点（執行部の民意反映）
- 3) 委員会審査充実の観点（委員会数及び委員数）

2 人口・面積規模等による定数

- 1) 人口＝類似団体との比較
- 2) 面積＝地理的条件を含めた行政効率の観点
- 3) 行政区・学区の観点

3 本市の現状及び課題並びに将来の予測及び展望の観点による定数

- 1) 人口・予算規模等の推移
- 2) 本市の将来像
- 3) 議員選挙における立候補者数

4 予算と定数

- 1) 財政状況、行財政改革の観点

5 市見意見と定数

- 1) 市民アンケート等による市民意見の観点

【参考】専門的知見の活用（標準的な定数の計算式 等）